



今回は、「**住空間を演出する効果的な照明プラン**」についてのお話です。

人は太陽が昇れば活動し、日が沈めばリラックスするように出来ているそうです。照明も部屋を明るくするだけでなく人の心を和ませる役目もあります。書斎や子供部屋は明るい方が良いですが、寝室は目の負担にならない優しい照明にしましょう。くつろぎの場であるリビングにもそれほど明るさは必要ないかもしれません。今回は住空間を演出する効果的な照明プランについて、部屋別に考えてみたいと思います。

部屋別照明プラン

作業性や安全性、健康な暮らしや雰囲気作りなど照明の役割はいろいろです。リフォームの際、照明プランを一緒に考えてみませんか。

玄関・廊下	明るく華やかなものがおすすめ。夜間トイレのために廊下にセンサー足元灯があると便利！	寝室	まぶしくない灯りで調光機能リモコン付きがおすすめ。夜間トイレのために足元灯も良い。
キッチン	安全で作業がしやすい明るく掃除しやすいもの。シンク調理部には手元灯をつけましょう。	ダイニング	料理を美味しくみせる白熱灯がおすすめ。ペンダントで食卓の回りを照らすと会話がはずみます。
子供部屋	明るい蛍光灯を主照明にし、勉強用のスタンドと合わせて使うのが良いでしょう。	リビング	主照明の他に複数の間接照明で明暗のアクセントをつけると寛ぎの良い雰囲気になります。

【施工例】



←ペンダントライトの白熱灯が料理や食器を立体的に照らし美味しさを演出。灯りに家族が自然と集まり、会話もはずみます。
そして、作業台の上には作業しやすいよう手元灯が付いています。(F様邸キッチン改装)



←リビングのアクセント天井からそそぐやわらかい灯り。オレンジ系の光は自律神経を刺激して消化吸收を促しリラックス効果があります。フロアスタンドも寛ぎの空間を演出。(S様邸LDK改装)



↑主照明は調光式。ダウンライトが目 ↑足元灯が夜間の歩行をにやさしい寝室です。(U様邸寝室改装) サポート。(Y様邸寝室改装)



←壁面照明が書斎の雰囲気を演出しています。(H様邸改装)

↑吹き抜けの壁面を照らすアクセントのブラケット照明が空間に広がりを感じさせます。(H様邸新築)

お気軽にお問い合わせ下さい！

 **0120-312-341**



エクステリア
住まいのお手伝い
事業部